

ウィンタースクール

「化石のレプリカを作ろう」のお知らせ！

- 日 時 平成30年1月12日（金）
 - ①午前の部 午前10時～12時
 - ②午後の部 午後1時30分～3時30分
- 場 所 別海町郷土資料館
- 参加対象 小学生
- 内 容 型に石こうを入れて、アンモナイトやマンモスの化石のレプリカを作ります。色もぬることができます。
- 定 員 午前・午後の部とも10名限定とします。電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を12月26日（金）までにご連絡ください。



写真左-マンモスゾウ臼歯化石

写真右-アンモナイト化石

ツク自然の営みが見えてきます。私の講演では、皆さんに分かりやすく、別海町の海岸地形の

平成29年度企画展

「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」のお知らせ！

- 日 時 平成29年12月1日（金）～26日（火）
午前10時～午後6時
- 場 所 別海町図書館ロビー
- 休 館 日 12月4日・11日・18日・23日・25日

小澤彦三氏は、明治36年(1903)5月10日山梨県小澤村生まれ。昭和2-3年(1927-28)頃帯広の金物店に勤めました。その後、別海村春日に店を開き、中西別広野に移りました。若い頃からドイツ製のカメラを持ち、地域の様々な出来事を撮影していました。

昭和4年(1929)～昭和30年(1955)頃の別海・中西別・上春別地区の様子で、これまでに町史・地域史に使用されるなど別海町の開拓の歴史を語る上では欠く事の出来ない資料となっていました。



ふるさと講演会「風蓮湖と野付半島の成立ちを知る」

を実施しました。

11月16日（木）別海町図書館にて、「ふるさと講演会」を実施しました。講師は、国立研究開発法人産業技術総合研究所上級主任研究員七山太氏です。参加者は41名でした。

七山氏は、平成23～26年度に風蓮湖バリアースピット（砂嘴）、平成27～29年度野付半島バリアースピット（砂嘴）の地形・地質の調査により、こうした地形がいつできて、これまでどのように姿形を変えてきたか解明しました。正式な報告は、来年以降になるとのことでしたが、現段階で知り得た結果をわかりやすくお話しいただき、参加者は興味深く聞いていました。



ふるさと講座自然系第2回目

「初冬の野鳥観察会 ユキホオジロ・コクガンを観察しよう」を実施しました。

11月25日（土）野付半島にて、「ふるさと講座自然系第2回目」を実施しました。講師は、野付半島ネイチャーセンター長藤井薫氏です。参加者は21名でした。

講師よりネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥、コクガン・ユキホオジロのお話いただきました。その後、野付半島先端に車で移動し、最終番屋から徒歩で先端部を目指しました。途中コクガン・オオハクチョウを観察。先端に到着、夕暮れを待ちコクガンの雁行を待つ間、ユキホオジロの群れが飛び交いました。その後、日暮れと同時にコクガンの雁行が一斉にはじまりました。風もなく天候も良かったこともあり、お目当ての鳥を十分に観察出来、参加者を大いに喜ばせました。

観察出来た野鳥

オオワシ・オジロワシ・オオハクチョウ・コクガン・ウミウ・ホオジロガモ・スズガモ・ユリカモメ・ユキホオジロ



別海町郷土資料館だより No.221

発行日 平成29年12月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

11月は、野付半島関係の講演会・講座でした。七山氏の講演では、興味深いお話がいくつも飛び出し、正式な報告が待ち遠しいです。また、初冬の観察会では、奇跡と言って良いほどの観察会で、野付の素晴らしさを改めて感じました。どちらか講師の方の調査・研究の賜物です。（石渡）